

中医協「2008年度第1回 診療報酬調査専門組織・DPC評価分科会」 08年度もデータ提出病院を新規募集

中医協の診療報酬調査専門組織は5月9日、2008年度初回のDPC評価分科会を開催し、今年度もデータ提出に協力できる病院を募集することを決めた。5月中旬に開催される中医協での議論を経て、ホームページで正式な募集が行われる予定だが、名称を「調査協力病院」とするか「準備病院」とするかは、今後の中医協で検討する。

募集要件は、一般病棟入院基本料10対1以上、診療録管理体制加算を算定（同等の体制があれば可）、「7月から12月までの退院等患者に係る調査」への適切な参加（標準レセ電算マスターに対応したデータ提出）の3点。今年度からDPC対象病院に設置が義務付けられた「適切なコーディングに関する委員会」の設置義務はないものの、セルフチェック機能として「設置が望ましい」としている。

このほか、08年度調査では急性期入院医療のデータを収集するため、DPC対象病棟から療養病棟などへ転棟した時点でもデータを収集することを決めた。

同日の分科会で医療課が報告した08年度のDPC対象病院は、06年度準備病院のうち358病院（4月：174病院、7月：184病院）が加わり、718病院になった。

2003年度DPC対象病院	82病院
2004年度DPC対象病院	62病院
2006年度DPC対象病院	216病院
2008年度DPC対象病院	358病院
DPC対象病院小計	718病院
2007年度準備病院	710病院

06年度準備病院のうち対象病院にならなかった13病院は以下のとおり。

医療法人社団北海道恵愛会札幌南一条病院
財団法人松村総合病院
宇都宮社会保険病院
日本私立学校振興・共済事業団東京臨海病院
川崎協同病院
社会保険高浜病院
東広島記念病院
(財)三宅医学研究所附属三宅リハビリテーション病院
社会保険栗林病院
宇和島社会保険病院
医療法人福西会福西会病院
医療法人社団恵愛会大分中村病院
野口記念会野口病院

【DPC評価分科会 会場】

